

ぎふ感染症かわら版

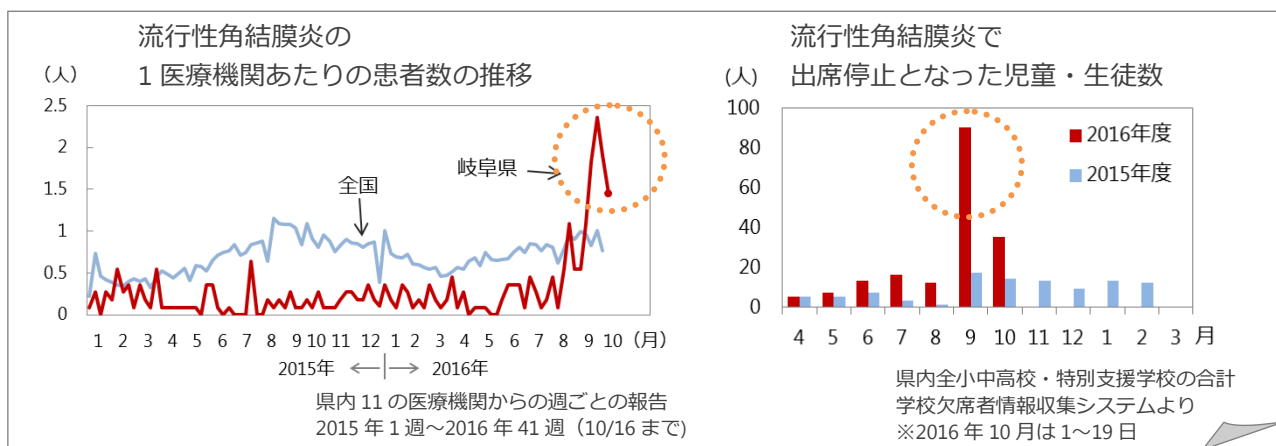
平成 28 年 10 月 21 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



流行性角結膜炎（はやり目）の患者が増加しています！

流行性角結膜炎は、一般的に夏に流行がみられますが、今年、県内で 8 月中旬から患者が急増しています。

子どもから大人まで幅広い年齢の人がかかり、県内の学校では、流行性角結膜炎で出席停止となった児童・生徒の数が 9 月に急増しています。



どんな病気？

アデノウイルスの感染によって、結膜に炎症を起こします。感染すると、8～14 日後に、**結膜が充血し、目やにや涙がたくさん出る**などの症状があらわれます。

結膜…まぶたの裏側と白目をおおっている膜

結膜炎は 2～3 週間で治まりますが、炎症が強いと、角膜（黒目）の表面に小さな濁りができて見えにくくなることがあり、この濁りは消えるまでに数ヵ月かかることがあります。



どう感染するの？ 予防方法は？

主に、感染した人の**目やにや涙を拭いた手指やタオル**などを介して**接触感染**します。アデノウイルスは感染力が強いので、流行時期にはこまめな手洗いが大切です。



- こまめに手を洗う
- 目を拭くときはティッシュペーパーを使い、目を直接手で触らない
- 同じタオルを他の人と一緒に使わない



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

